

パブリックコメントの結果について

募集期間:平成25年7月22日～平成25年8月5日

応募件数:2件

番号	応募方法	募集要件	意見等	回答
1	持参	市内に住所を有する人	～りんご公園敷地内事業を一般からも募集しているということでしたので～ ○施設 ・野外劇場…雪対策が大きな課題となるでしょうが、野外コンサート・ダンス・演劇・津軽民謡、手踊り、三味線演奏などの活用 ・図書館…りんごの絵本を中心とした本を自由に閲覧でき、絵を描いたりりんご廃材を利用した積み木など利用でき、当然お話会などでもできるフリースペース(遊具は屋外にあるので子供たちのための屋内施設) ・異人館のような建築物…りんご栽培の歴史資料がどのくらいあるかわかりませんが、イングさんがりんごを弘前に持ってきたという話から。りんごを使った料理・お菓子の研究やるんご酒・シードル研究場所、りんごで染めた衣服の展示やショーの開催(衣食住の文化に関わることを) ○イベント 月ごとには ・5のつく日はりんごの日?なので、「りんご公園にゴー」のような企画を月1回催し。土日でないときは、保育所・幼稚園・老人施設を対象にしたことを企画・運営する。 季節に区分して ・春…りんご花祭り ・夏…りんごねぶた祭り:金魚ねぶたのりんごバージョンを作成し、りんご公園内を歩く ・秋…りんご収穫祭 ・冬…りんご雪まつり:りんご雪像づくりを家族・チームなどでつくる 雪を利用した遊びも行う * りんごジュースやアップルパイを初めとするりんご関連商品の試飲・試食販売は当然行う	本構想案は、りんごの生産や加工等をリードする「りんごの聖地 弘前」の中核施設として、りんご公園を位置づけるとともに、りんごを観光面・文化面・商工面・教育面などに幅広く活用していくことのできる施設として再整備を行うこととしております。 ご提案の園内施設やイベント等につきましては、本構想案をもとに今後りんご公園の機能強化を図っていく上での参考にさせていただきます。

番号	応募方法	募集要件	意見等	回答
1	持参	市内に住所を有する人	その他 ・健康関連として…アップル体操・たかまるくんよさこい・ヨガなどを広場で行う ・婚活事業として…「りんごの木の下で愛を実らせる」「りんごの木の下で結婚式」 ・りんご公園内で販売している商品の中に、りんごの木を使ってりんごにメッセージを書いてプレゼントするものを見つけました。りんごの木に自分の願いなどをかける日をつける。 りんご収穫に関連して観光客が訪れるだけでなく、普段から弘前市民が利用する公園となれば良いのではと思います。	

パブリックコメントの結果について

募集期間:平成25年7月22日～平成25年8月5日

応募件数:2件

番号	応募方法	募集要件	意見等	回答
2	電子メール	市内に事務所等を有する人または団体等	りんご公園一帯の地域をまるごと「ミュージアム」と見立て、弘前市の文化観光施設のしっかりとした位置づけにすることには、大いに賛成するものであります。 特に「りんごの楽校」づくり構想に期待をしますが、コンセプトとして「木育」(もくいく)の推進、普及啓発を図るものにしてはいかがでしょうか。 その形として、りんご公園内に「津軽おもちゃ美術館」の設立を望みます。 リンゴの木を中心とした津軽の樹種を使用した積み木や玩具に常時触れられる広場や、木育を学ぶ機会を創出することで、まさに「りんごのまち弘前」、葛西市長が掲げる「子どもたちの笑顔があふれる弘前づくり」として他の地域との差別化がなされ、東北での木育推進の発信基地となり、年間を通して多方面からの集客が見込まれます。 また弘前市においては、昨年、「木育円卓会議」が開催され、木育を推進する団体が活動을続けており基盤は既に整っていることから、NPOや市民のマンパワーを生かすことが可能です。 地場産業の創出、雇用の創出、観光文化の創出、木育文化の創出を柱に、再リニューアル構想をさらに内容の濃いものになることを期待します。	本構想案は、りんごの生産や加工等をリードする「りんごの聖地 弘前」の中核施設として、りんご公園を位置づけるとともに、りんごを観光面・文化面・商工面・教育面などに幅広く活用していくことのできる施設として再整備を行うこととしております。 ご提案の「木育」推進コンセプトにつきましては、市としても大切な視点と考えておりますので、本構想案をもとに今後りんご公園の機能強化を図っていくうえでの参考にさせていただきます。